

「白山市立地適正化計画パブリックコメント」 に対するご意見と市の考え方について

募集期間：令和3年2月24日（水）～3月9日（火）

結 果：2名の方から5件のご意見、ご要望

パブリックコメントに寄せられた白山市立地適正化計画へのご意見、ご要望と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

記

	ご意見、ご要望	市の考え方
1	統計データの情報が少し古いと思うので、最新の情報に更新してはどうか。	ご意見のとおり統計データが更新されている情報については、最新のデータを記載します。
2	ジオパーク世界登録をめざす白山市における立地適正化計画は、道路沿いの緑地化による「緑あふれる道路」と用水が持つ機能と自然との融合の「水辺創設」によるシンガポールのようなコンパクトシティに向け、もう一步深掘りした立地適正化計画としてはいかがでしょうか。	いただきましたご意見も参考にしながら、今後、魅力的なまちづくりができるよう、誘導施策の具体的な検討を進めてまいります。
3	新たにできる（仮称）西松任駅を含め4駅が利便性だけでなく、それぞれのまちを特徴づけ選択できる魅力ある玄関口（駅）都市形成が必要ではないでしょうか。	それぞれの地域が特徴を持ったまちづくりとなるよう、立地適正化計画のみならず総合計画、都市計画マスタープランなどと整合を図りながら、各種施策を進めてまいります。

4	<p>北陸のこの地にあって「北陸を感じさせない冬の生活」と「冬を感じ、楽しめるそんな魅力の都市形成」こそが、極めて重要で「人が集い、活力あふれ、持続可能な発展と自然が集約できる市街地の形成」となると考えます。</p> <p>そうすることが住みたいと思える魅力あるまちづくりが、必要視されるのではないのでしょうか。</p>	<p>本市の立地適正化計画における将来像が文字通りの達成ができるよう、都市の魅力を高められるような施策の展開を進めてまいりたいと考えます。</p>
5	<p>北陸の都市社会は鉄道のみで形成されているわけではありませんし、東京・大阪のような都市形成とは違います。現在の立地適正化計画では駅周辺のコンパクト化と集約化の誘導のみとなっており、公共交通機関のバスや国道8号・幹線道路の考慮、大型施設の進出考慮、脱炭素化 2030年ゼロ目標等の社会的変化の考慮があまく、20年後までの計画としては、具体性と方向性が弱いと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>本市の立地適正化計画においては、鉄道のみ重点を置いているわけではなく、バス交通も重要な公共交通機関と位置付けており、関連計画である「白山市地域公共交通網形成計画」と併せ、拠点間と周辺地域、周辺市町との連携を図ってまいります。</p> <p>また、各種社会情勢の変化や課題に関しては、引き続き、市として対応を進めてまいります。</p>